

第20回理事会・第11回社員総会 議決

平成28年度

事業報告書

平成28年4月1日から

平成29年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1－1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元の方々に雅楽に親しんでいただく機会を増やす。
- b. 日 時：平成28年4月17日（日）
- c. 場 所：大原駅前通り
- d. 対 象：一般
- e. 入場料：無料
- f. 内 容：雅楽演奏
 - －管絃「平調音取」「越殿楽」「陪臚」
 - －舞楽「青海波」
- g. 主 催：外房いすみ酒蔵開き実行委員会
- h. 後 援：いすみ市、いすみ商工会、いすみ市観光協会、
いすみ市商工会青年部、大原中央商店街、不二の会
- i. 反 響：当日は小雨交じりのあいにくの天気だったが、多くの方が訪れ管絃と舞楽を堪能された。
特に、舞楽は海沿いの街ということにちなんで「青海波」を披露した。舞の可憐さ、装束の美しさに、多くの見学者が感動していた。

【事業名1－2：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元の方々に雅楽に親しんでいただく機会を増やす。
- b. 日 時：平成28年10月31日（月）
- c. 場 所：長者天神社境内
- d. 対 象：一般

- e. 入場料：無料
- f. 内 容：雅楽演奏
 - －管絃『平調音取』『越殿楽』
 - －舞楽『迦陵頻』
- g. 主 催：長者町おたちの会

【事業名2：世界音楽の祭典 IN 浜松 2016】

- a. 事業の趣旨：浜松市が2014年（平成26年）12月、音楽分野ではアジアで初めてとなるユネスコ創造都市ネットワークに加盟した。
 本企画は、ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野加盟都市のうち13都市から、地域を代表するトップアーティストが「音楽の都・浜松」に集結し、“多様な楽器と音楽文化がジャンルを超えて融合する新しいカタチの音楽祭”－「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」として開催されることになった。
 当アンサンブルは、アメリカ・ボストンバークリー音楽大学教授のタイガー大越先生のトランペットとの共演という形で参加することとなった。
- b. 日 時：平成28年11月6日（日）13:30～
- c. 場 所：アクトシティ浜松大ホール
- d. 公 演：世界音楽祭 IN 浜松 2016
 ワールドミュージックコンサート
- e. 主 催：ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会／浜松市
- f. 協 賛：文化庁、ローランド、カワイ、ヤマハ
- g. 内 容：雅楽の演奏及びタイガー大越氏との共演
- h. 演 目：朗詠「嘉辰」
 舞楽「甘州」
 管絃「平調越殿楽」（タイガー先生との共演）
 特別出演：安齋省吾先生（元宮内庁式部職楽部首席楽長）
- i. 入場者数：約1,000名
- j. 反 響：
 - タイガー先生の魂の叫びのようなトランペットの音色に感動させられた。
 - 東洋の雅楽と西洋のトランペットの融合された音楽となった。
 - 主催者側からも、今後の北之台雅楽アンサンブルとの関わりを強めていきたいとの意向が示された。
 - タイガー先生のお蔭で、アンサンブルとしても今までにない素晴

らしいステージに立つことができ、今後の活動に大きな弾みとなった。タイガー先生とは、来年2月に浜松で再会することとなった。

○公演後に開催されたパーティーでは、松浦晃一郎氏（前ユネスコ事務局長）、姫野 勉氏（前ボストン総領事）、武藤 顕氏（元ボストン総領事）、ピーター・グリーンリー氏（元ボストン日米協会会長）等と面会し、今後の雅楽活動における支援の申し出をいただくことができた。

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：第七回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：本企画は、国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについてご講演をいただき、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとしている。
第一部では、末綱隆氏（元宮内庁東宮侍従長／元警視庁副総監／元在ルクセンブルグ日本大使）が講演する。
第二部では、当該アンサンブルが、日本ベルギー修好150周年記念公演で演奏した舞楽を二曲紹介する。
また、演奏には、元宮内庁式部職楽部首席楽長・安齋省吾師が特別出演する。
- b. 日 時：平成28年5月22日（土）13時30分～
- c. 場 所：紀尾井小ホール（東京、四谷）
- d. 対 象：一般250名
- e. 入場料：前売り2,500円／当日3,000円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
第一部：講 演
講師：末綱 隆氏（元警視庁副総監／元宮内庁東宮侍従長
／元在ルクセンブルグ日本大使）
講演内容：拡大する欧州連合（EU）やユーロ圏の現状及び各国の外交活動及び、日本の歴史・文化・伝統の守り手としての皇室の御活動（宮中祭祀等を含めて）について
第二部：雅楽演奏 舞楽「陵 王」「甘 州」
- g. 後 援：在日ルクセンブルグ大公国大使館
- h. 助 成：公益財団法人新日鉄住金文化財団

i. 反 響：

- 駐日クロアチア共和国ドラジェン・フラスティッチ特命全権大使ご夫妻を始め、各界の多くのご来賓の方々にお越しいただいた。
- 第一部の末綱氏による講演は、1時間という限られた時間の中ではあったが、配布資料及びスライドを用い多くの観衆の関心を集めた。ルクセンブルク大公国の紹介から始まり、現在EUが抱える諸問題を分かりやすくご解説。また元東宮侍従長として、日頃触れることのできない皇室のご活動について、特に伝統文化の保護と継承に果たす皇室の役割なども説明いただき、大変有意義なご講演となり好評だった。
- 第二部の雅楽では、本年1月の日本ベルギー修好150周年記念公演で披露した舞楽「陵王」と「甘州」を当アンサンブルが演奏した。又、今回もベルギー公演に続き、宮内庁式部職楽部、元・首席楽長の安齋省吾先生に特別出演をお願いし、龍笛、鞆鼓の演奏と、公演の最後に神楽笛の「朝倉音取」の独奏をいただき高い評価を得ることが出来た。
- 来場者からは、「講演もたいへん勉強になり、舞台公演も素晴らしく舞楽が輝いて見えました」「外交を通してのEU関係、皇室のお話も良く理解できました」「二つの舞楽と神楽笛は圧巻でした」「素晴らしい！」などの賛辞を多数いただいた。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：米国ボストン日本まつり雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：ボストン日本まつりは、現地日系企業、邦人団体が主催となり、日本文化を紹介するイベントであり、雅楽を通して日米両国の相互理解、友好親善に貢献する。
- b. 日 時：平成28年4月24日（日）午前11時から午後6時まで
- c. 会 場：ボストン・コモン（全米最古の都市公園）
- d. 対 象：一般約6万名、ステージ見学者約500名
- e. 内 容：舞楽「甘 州」にて参加する
- f. 渡航人員：舞人2名
- g. 主 催：日系起業家ネットワーク、在ボストン日本国総領事館、ボストン日本協会、ボストン日本人会、昭和ボストン他
- h. 後 援：日本航空、ユニクロ、レッドソックス、エネオス他
- i. 反 響：

- 「100年続く日本祭り」を目標にして始められた当イベントの第五回目となり、ボストンで活動する日系企業よりの協賛金、また募金を集めての開催実現となった。
- 当日は天候にも恵まれ、昨年倍の6万人の来場者で賑わい、大成功の日本祭りとなった。
- 当日は、午後1時から第二ステージでの舞楽の公演。約500名の方々が鑑賞された。続くワークショップ会場への移動中に大勢の方から写真撮影を求められた。
- 午後2時からのワークショップでは、50名ほどの方が舞楽の説明に聞き入り、装束の豪華さに魅了されていた。また舞人との写真撮影も10数組の希望があった。
- 北之台雅楽アンサンブルの舞楽公演が、今日のイベントの理念にも謳われている「本物の日本文化をアメリカへ紹介し、伝統を次世代に繋ぎます」に最も相応しい伝統的な日本芸術の紹介となっていた。

【事業名2：オーストラリアにおける雅楽紹介】

- a. 事業の趣旨：日本とオーストラリア両国の文化交流活動に貢献するために「シドニー夏まつり」に参加する。
- b. 日 時：平成28年12月10日（土）13:30～
- c. 会 場：シドニー ダーリングハーバー タンガロンパーク
- d. 対 象：一般約30,000名
- e. 内 容：舞楽「迦陵頻」
- f. 渡航人員：舞人2名
- g. 主 催：シドニー夏祭り実行委員会
- h. 後 援：国際交流基金、シドニー日本クラブ、シドニー商工会議所、シドニー日本人会、ジェットロ等
- i. 反 響：年を重ねるごとに参加者が増え、今ではシドニーの名物イベントとなりつつあり、実行委員会からも舞楽の参加を高く評価された。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

本年度は、対象となる事業の予定はない。

② 雅楽体験教室

【事業名1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施する。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与する。

b. 日時・場所：

- ①平成28年10月7日（金） 習志野市立谷津南小学校
- ②平成28年10月14日（金） 八千代市立萱田中学校
- ③平成28年12月15日（木） 浦安市立見明川小学校
- ④平成28年12月16日（金） 船橋市立高郷小学校
- ⑤平成29年1月12日（木） 匝瑳市立栄小学校
- ⑥平成29年1月17日（火） 佐倉市立南部中学校

c. 参加者数：

①習志野市立谷津南小学校	65名（6年生）
②八千代市立萱田中学校	270名（1年生）
③浦安市立見明川小学校	189名（5～6年生）
④船橋市立高郷小学校	175名（5～6年生）
⑤匝瑳市立栄小学校	158名（1～6年生）
⑥佐倉市立南部中学校	89名（1年生）
合計	946名

d. 内容：管絃と舞楽演奏および楽器・舞楽の体験教室等

①鑑賞

・雅楽鑑賞

管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」

・舞楽鑑賞

舞楽「迦陵頻」

②体験

・楽器体験

－楽器体験では、生徒が6グループに分かれて打物（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）、笙、箏、龍笛、箏、琵琶の8種類の楽器を体験した。

－学校側にタイムキーパーをお願いし、回る順番を決め、各グループが10分毎に楽器を移動し、決められた時間内で、できるだけ多くの楽器に触れてもらうように配慮した。

・舞楽体験

- 参加生徒全員と舞人とが一緒になって舞楽「迦陵頻」の
 出手（でるて）の舞振りを体験した。
- 2回の練習をした後、実際に曲に合わせて舞振りを行っ
 た。
- ・朗詠体験
 - 朗詠「嘉辰」を一緒になって歌った。
 - 2回の練習を行った後、演奏者の曲に合わせて歌った。

※「鑑賞」及び「体験」参加状況 (人)

学 校 名 (学年)	参加者数	鑑 賞	体 験	
			楽 器	舞 楽
① 谷津南小学校 (6)	65	65	65	0
② 萱田中学校 (1)	270	270	0	270
③ 見明川小学校 (5～6)	189	189	90	0
④ 高郷小学校 (5～6)	175	175	80	80
⑤ 栄小学校 (1～6)	158	158	60	60
⑥ 南部中学校 (1)	89	89	89	0
合 計	946	946	384	410

※萱田中学校の舞楽体験は、朗詠の体験を実施した。

e. 参加人員：楽人11名、舞人4名、スタッフ8名 計23名

f. 成 果：

- ①現在の学校教育では、洋楽を中心として教えており、児童・生徒の多くが、日本の伝統音楽である雅楽について、日本人として何も知らなかったという事実に驚きを感じていた。
- ②雅楽を学ぶことによって、日本の音楽とその歴史を自国のものとして理解することができた。また、雅楽の演奏の姿にも一つ一つの意味があり、日本の歴史の重みを感じとっていた。
- ③雅楽を演奏するには技術だけでなく、心の豊かさ、素直さが必要であることや雅楽は伝統的な音楽を継承しているだけではなく、礼儀作法もきちんと継承されていることが理解された。
- ④楽器体験は短い時間ではあったが、音を上手に出すために、生徒自身がいろいろと考えながら体験をしていたことが教育的に良かったという先生の意見があった。
- ⑤演奏を鑑賞するのと実際に吹いてみることの違いが理解され、なかなか音が出ない難しい楽器に取り組み、演奏者の指導によって音が出るようになった喜びは、生徒にとってよい経験となった。
- ⑥生徒数の関係で、楽器体験を無くしたプログラムの学校では、休

憩時間に楽器に触れる生徒たちの姿を見て、もっと楽器に触れる機会や演奏者との交流ができる場面を設けるべきであったとの意見があった。

⑦雅楽の演奏を聴いて、日本は外国にはない独特の音だったり、リズムなどがあって面白いと感じる生徒が多く、雅楽を通して国際文化交流を実施している意義を理解してもらうことができた。

⑧雅楽の説明等、分かりやすかったという感想が多かったが、会場によっては、演奏中の解説がマイクの調整の関係もあり、所々聞こえづらい部分があって残念であったという意見もあった。受け入れる学校側の視聴覚設備にもよるが、出来るだけ学校の担当者に事前のマイク調整をお願いして臨みたい。

③ 雅楽研修会

本年度は、対象となる事業の予定はない。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 情報誌の作成（賛助会員配布用）
- d. アンサンブルの雅楽紹介 DVD の作成

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以上